

中山間地域コミュニティ再生事業重点プロジェクト事業

事業指定市町・モデル地区からの報告

益田市

種地区  
二川地区  
匹見下地区

報告者	経営企画部地域振興課	和崎	達美
	種地区振興センター	岩藤	達司
	二川地区振興センター	坂本	大学
	匹見下地区振興センター	田中	一史

# 報告項目

**益田市の現況**

(発表者:和崎)

**モデル地区**

**匹見下地区報告**(発表者:田中)

**二川地区報告**

(発表者:坂本)

**種地区報告**

(発表者:岩藤)

**事業評価、施策展開、課題**

(発表者:和崎)

**益田市**

# はじめに・・・

## 益田市の中山間地域コミュニティ 再生重点プロジェクト事業

- ・地域マネージャーを設置していない
- ・地区振興センターと地域組織が連携

益田市

# 地区振興センター

## 設置について

平成16年11月の益田市合併

地区公民館単位に設置(20センター)

センター長(公民館長)・市職員・嘱託職員

益田市

# 地区振興センター

## 設置目的

- 地域住民による主体的で特色ある地域づくり活動を支援
- 地域住民と行政との協働による地域づくりを推進
- 地域住民が自ら考え行動する住民自治の確立

益田市

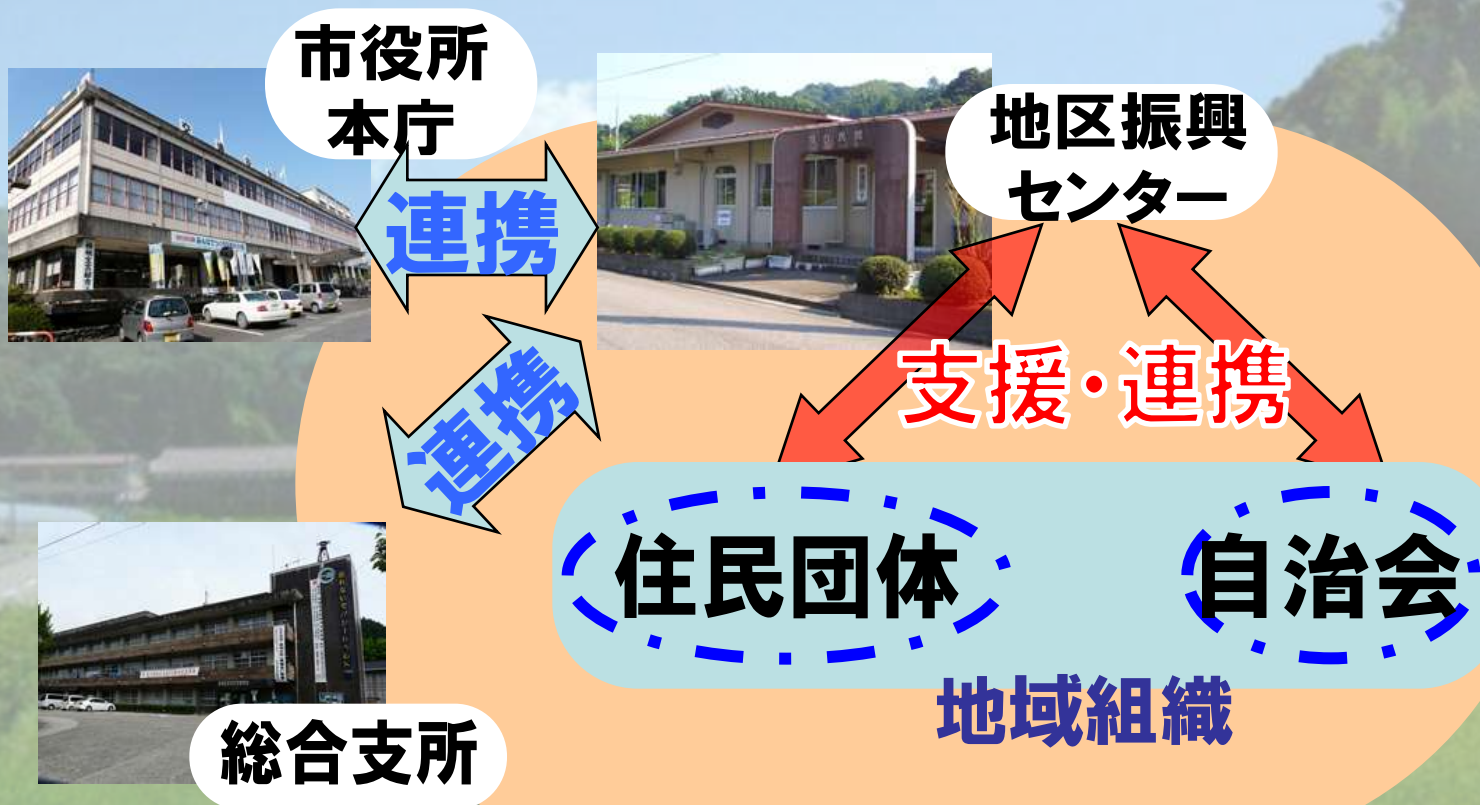
# 地区振興センター

## 業務

- ・地域づくりの中核となる組織の設立支援及び育成
- ・地域づくりの基本となる計画策定の支援
- ・地域住民と行政との協働による地域活動の推進
- ・公民館活動との連携
- ・諸証明等の行政サービス

益田市

# 地区振興センターイメージ図



益田市

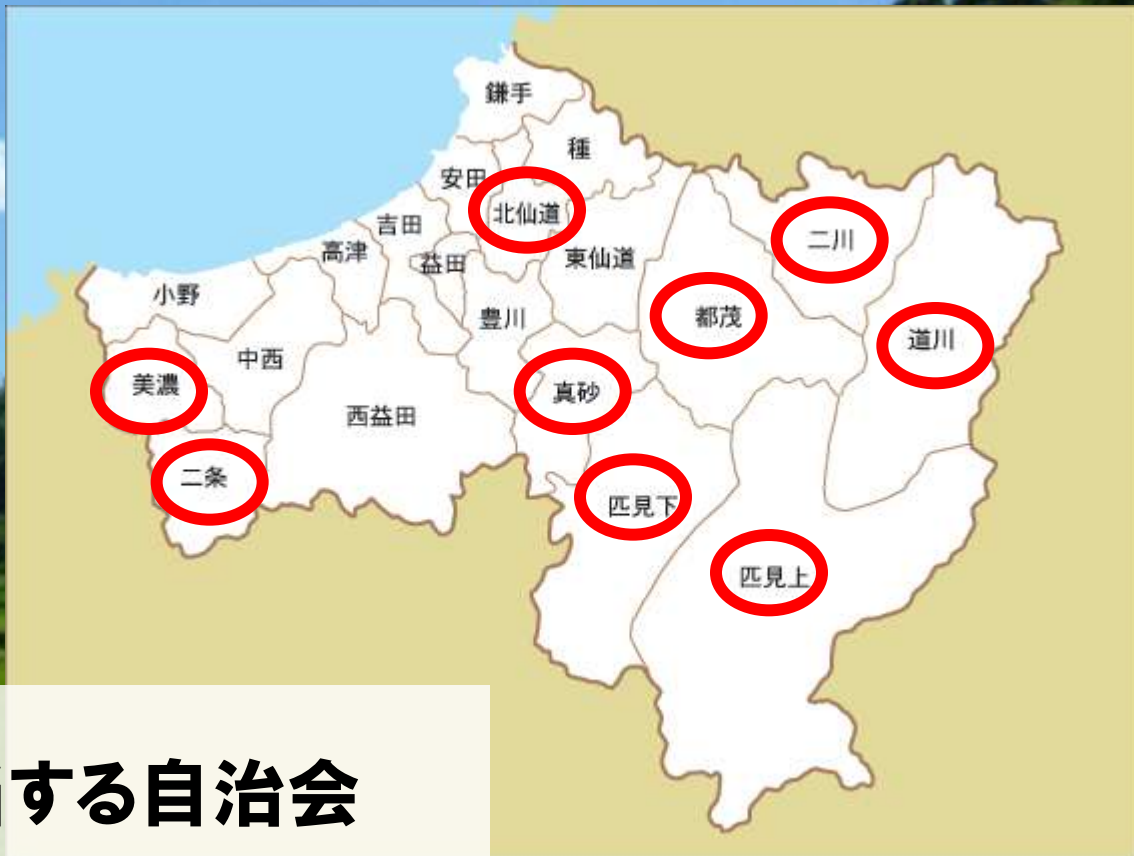
# 益田市の概要

高齢化率 30.2%

40%を越える地区  
... 9地区

「限界的集落」に該当する自治会

40自治会以上(全体の約15%)



益田市



# モデル地区 3地区

## 種地区

(旧益田市)

## 二川地区

(旧美都町)

## 匹見下地区

(旧匹見町)



益田市

# モデル地区の概要

地区	種	二川	匹見下	益田市全体
人口	332人	292人	338人	51,476人
世帯数	119世帯	130世帯	118世帯	21,374世帯
高齢化率	38.9%	44.2%	66.6%	30.2%

平成21年12月末現在 住民基本台帳及び外国人登録による

益田市

# モデル地区 匹見下地区報告

種地区

(旧益田市)

二川地区

(旧美都町)

匹見下地区

(旧匹見町)



益田市



# 1. 地域の概況

17集落 17自治会

限界集落8自治会

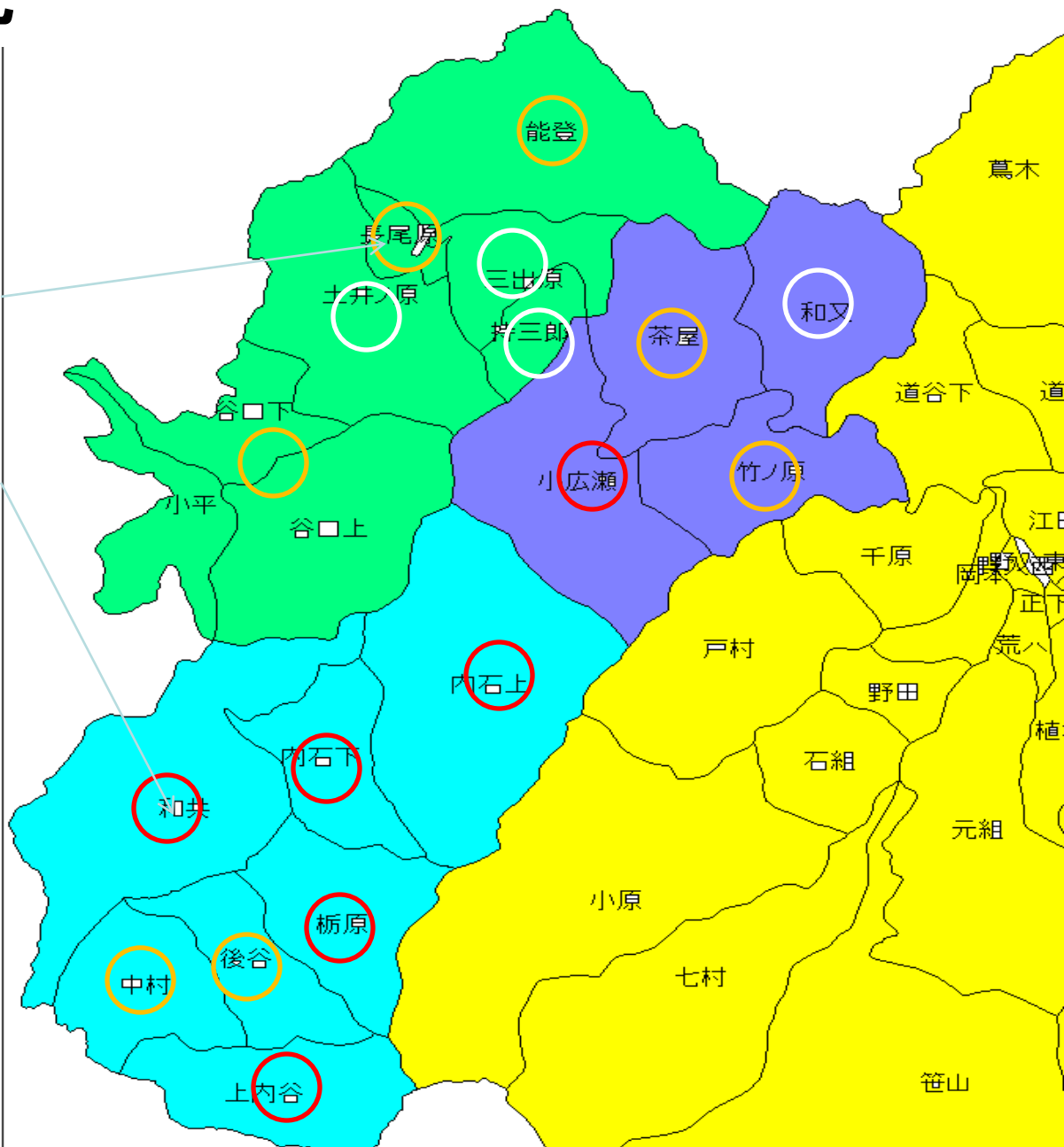
危機的集落6自治会

人口等 世帯数188

人口337人

高齢化率67.1%

平成22年2月末



# 1. 地域の概況

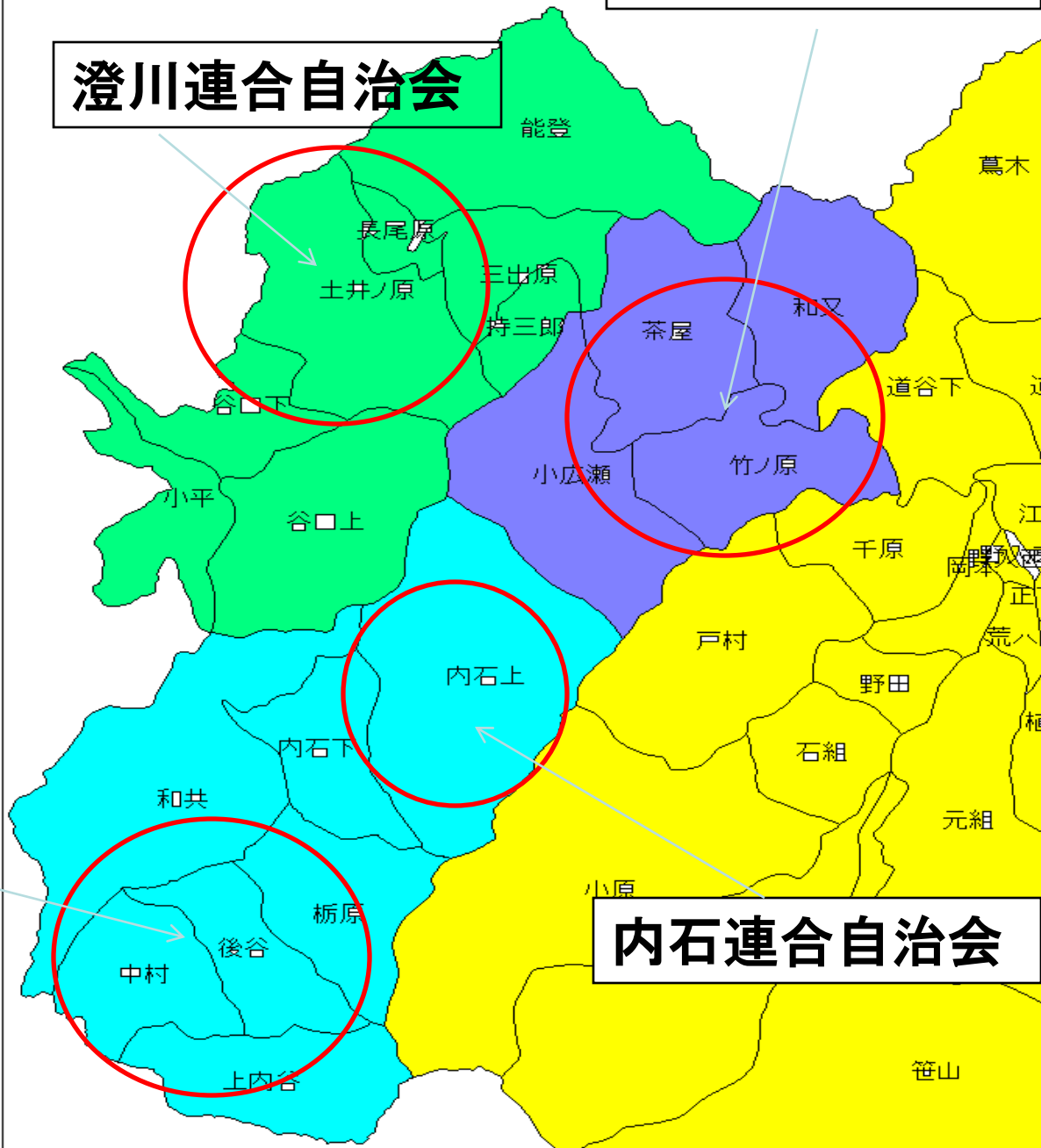
4つの連合自治会

広瀬連合自治会

澄川連合自治会

内谷連合自治会

内石連合自治会



# 匹見下地域づくり協議会

構成メンバー(匹見下地区振興センター運営委員会)

広瀬連合自治会

広瀬青稲クラブ

澄川連合自治会

がんばろう会

内谷連合自治会

匹見下寿会

内石連合自治会

匹見下婦人会

広瀬・澄川水稲生産組合

深山の郷加工グループ

平成17年5月設立

# 匹見下地区の課題

1. 農地の有効利用・農作業受託組織の育成
2. 農林産物の生産振興
3. 農産加工・農産物販売の促進
4. 鳥獣被害対策
5. 自然豊かな地域を生かした観光産業開発
6. 匹見下公民館を中心とした健康づくり・生きがいづくりの推進
7. 地区点検活動の実施による地域の活性化の推進
8. 地域における民族芸能の継承
9. I, Uターンの受け入れ環境整備
10. 効率的な地域内運行と利便性



# 旧澄川小学校の活用



平成18年3月末 閉校

# 匹見下地区振興方針

## 匹見下地区地域づくり協議会

匹見下地域内

連携

補完

補完

A自治会

B自治会

C自治会

D自治会

A連合自治会

B連合自治会

複数集落を包括し  
スケールメリットを発揮

基礎的な生活圏を形成することが出来る  
質的・量的にまとまった担い手を確保する

集落単位では出来ない  
機能を担う

支援

地域内 団体  
各グループ

匹見下地区振興センター

(振興センター運営委員会)

匹見下公民館

旧澄川小学校 (新たな結節拠点)

新たな結節機能

支援

匹見総合支所

島根県中山間地域研究  
センター  
専門的なアドバイス・支援

匹見下地域外

地区振興センター

大学生

企業

都会の人

地元出身者

田舎体験・滞在・定住希望

ボランティア活動による人的支援提供

# 想定される事業効果

1. 田舎ツーリズムの推進。(地域の活性化と外貨獲得)
2. 地域外からの受け入れに対する中心的な組織、グループの育成、受け入れ態勢の整備。
3. 地域における交流を中心としたイベントの開催。
4. ひきみ田舎体験推進協議会との連携による広域的な取り組み。



匹見下地区地域づくり協議会




匹見下地区田舎体験部会

平成21年10月設立

ふるさと島根定住財団

ひきみ田舎体験推進協議会




邑南町田舎ツーリズム推進協議会

邑智郡田舎体験交流協議会





# 農家民泊「のぶしの宿」

A man wearing glasses and a white jacket with dark blue accents is standing in front of a whiteboard. He is holding a rolled-up document in his left hand and gesturing with his right hand. The whiteboard behind him is blank. In the foreground, the backs of several audience members' heads are visible, indicating a presentation or lecture setting. To the left, there is a small table with some papers on it.

NPO法人安心院町グリーンツーリズム研究会  
宇佐市安心院町グリーン・ツーリズム推進協議会





A woman with glasses, wearing a white long-sleeved shirt and grey pants, is seated in a wooden chair in a cluttered kitchen. She is smiling slightly. In front of her is a portable gas stove on a blue tiled surface, with a bowl of food and a basket of food nearby. The kitchen is filled with various items, including a trash can, a sink, and numerous bottles and containers on the counter and shelves. The scene is lit with warm indoor lighting.

農家民泊 舟板昔ばなしの家

農家民泊 星降る高台の家



# 今後の取り組み

1. 現在の田舎体験部会を更に動きやすい組織に変更
2. 体験メニューの整理・指導者の確保
3. 受け入れ側の研修会の開催
4. 小学生田舎体験受け入れの試み

A group of people are gathered around a net in a stream. One person is wearing a blue vest and a white long-sleeved shirt, and another is wearing a light-colored hat. The net is being held in the water, and the people are looking into it. The background shows a rocky stream bed.

ふれあいサマーキャンプin益田

8月1日～3日











ふれあいサマーキャンプ in 益田

2009. 7.31 ~ 8. 3

# モデル地区 二川地区報告

**種地区**

(旧益田市)

**二川地区**

(旧美都町)

**匹見下地区**

(旧匹見町)



**益田市**

# 二川地区の取り組み

二川の未来を創る会  
二川地区振興センター

# 地域課題についての話し合い



「美都温泉地域の開発計画」  
提言書



平成18  
二川の未

二川まちづくり提言書

自然とともに

人とともに生きる

温もりある二川



美都温泉 豊元館

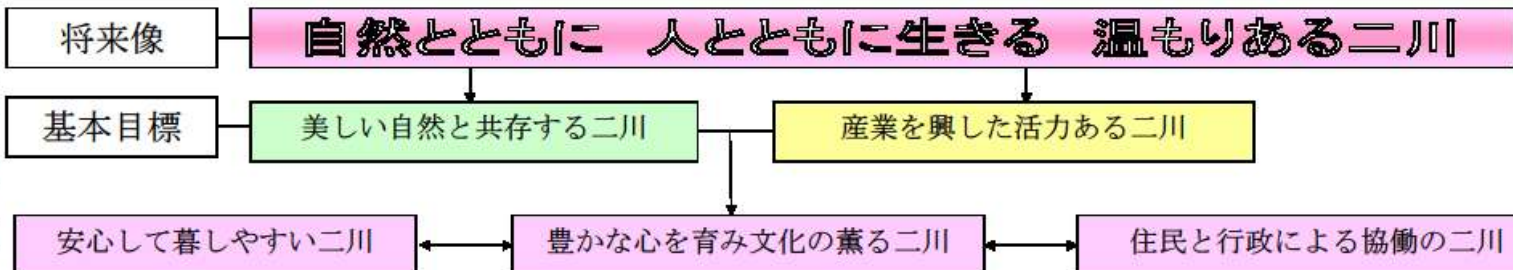
平成19年12月  
二川の未来を創る会



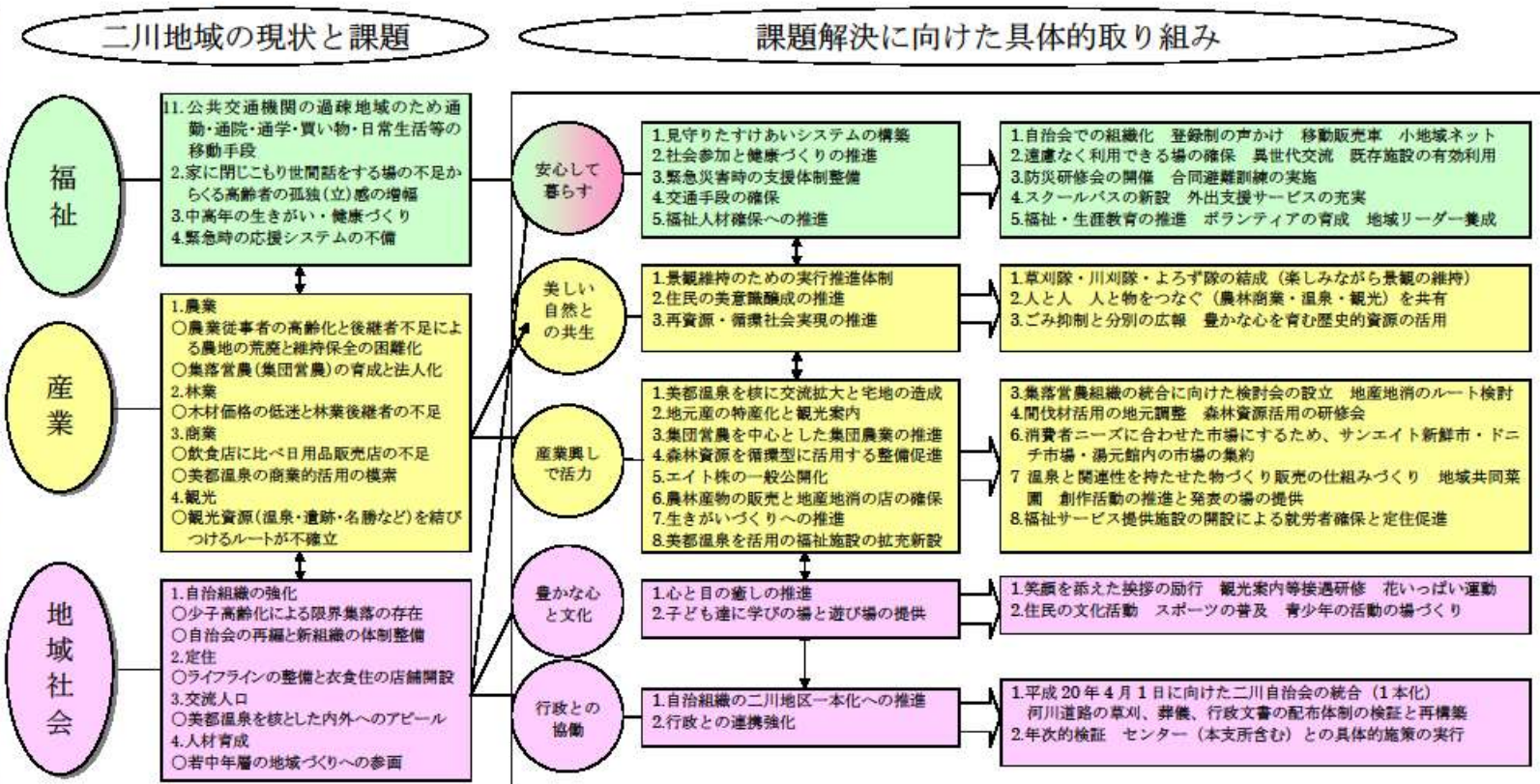
# 二川まちづくり提言書基本方針



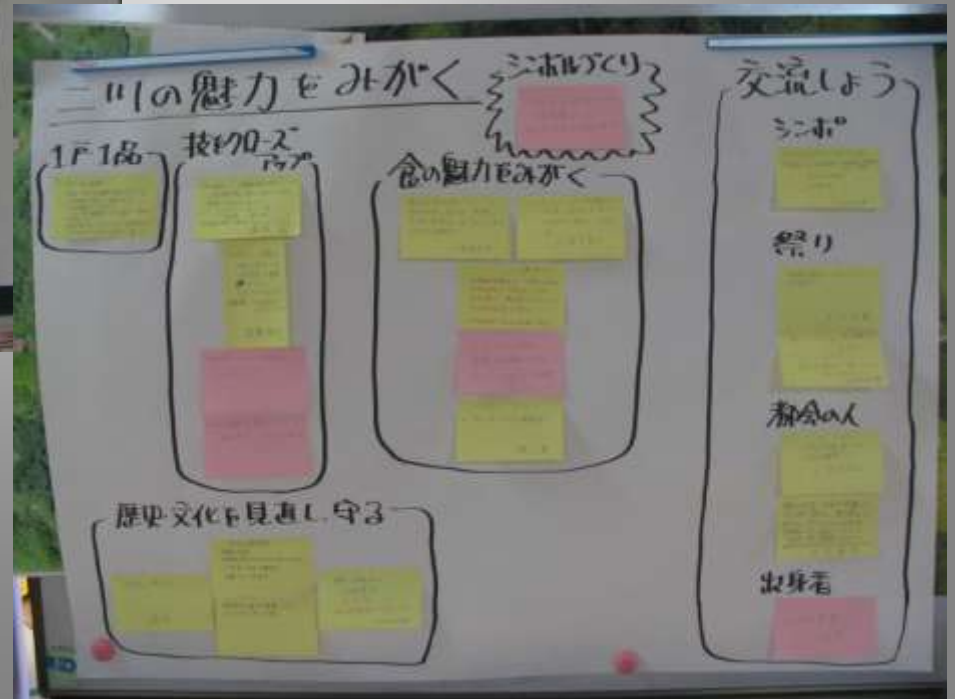
## 基本構想



## 将来像実現のための具体的目標



# 参加者自らが考え出した課題や目標





# 今後の方向性について

## 国土交通省 平成20年度地域振興アドバイザー派遣事業 成果報告会

～自然とともに 人とともに生きる 温もりある二川へ～ 鳥根桑田市 二川の未来を創る会

### 柚子を選んだ理由

- ① 当地には、栽培に慣れた、気候的に栽培が適している
- ② 耕作放棄地の有効活用になる
- ③ 柚子は、実用面と観光面として期待がある



# 住民総出で取り組みを開始



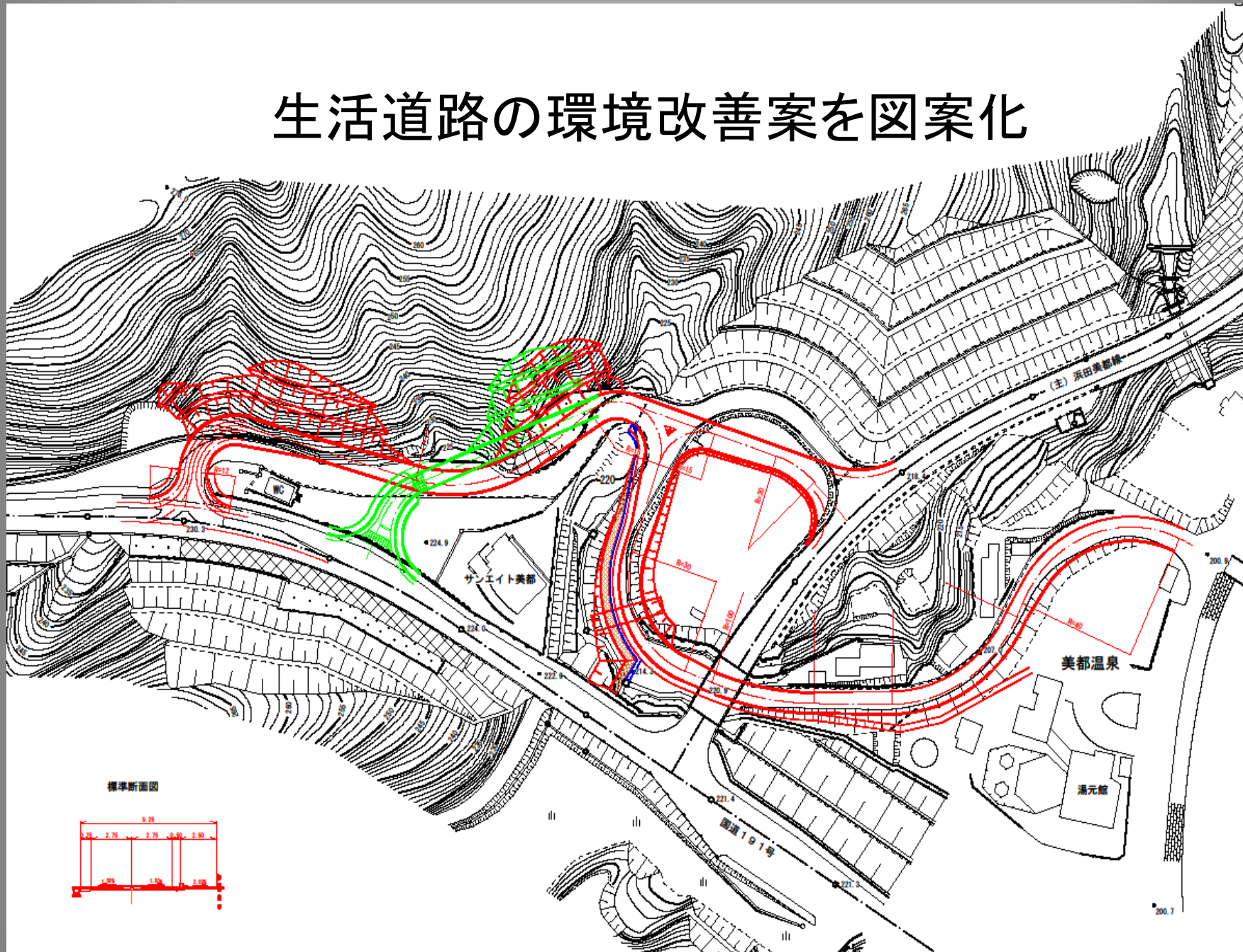
# 秋に向けて第2段の開始！



# 空港マラソンにも参加しました



# 生活道路の環境改善案を図案化



# 安全衛生管理講習会



# 小学校との連携～親子ふれあい活動での取り組み～







# 地域総出の小学校美化活動



# 柚子への思い



地域再生への取り組み  
ゆずの里づくり

二川の未来を創る会  
産業部会

二川を  
ゆず色にしてみませんか!?

【二川に來ればゆずの木がある】

ゆずの里づくりへの挑戦！  
ゆずへの想いを伝えたい！  
ゆず色のいなか！  
将来の二川に向けたゆず1本運動！  
「すっぱい」を恐れずに！  
「すっぱい」が成功のもと！  
「すっぱい」が成功へと！

ゆずの  
1戸1本運動

ゆずの苗木  
肥料を  
提供します！

希望者へは  
苗の植えつけを  
お手伝いします。



申込者へゆずの年間管理表配布します。  
勉強会も計画中！

原点に返った取り組み

# 柚子栽培講習会



# 二川の魅力満載





昭和51年頃の二川の田園風景

道の駅サンエイト美都



# 観光施設



新鮮野菜市



美都温泉湯元館

島根県  
益田市美都町産



甘  
酸っぱくて  
おいしいよー！



ゆず&はちみつのジュース

ゆずっこ



## 柚子商品のご紹介







仲秋の名月でのお月見ナイトウォーク

# 地域で育む宝もの



# 地域の安全を見守る声かけ隊の会合



氏名		年齢	歳	性別	
連絡先		地区名			

同居家族氏名	連絡先	備考

5人組	連絡先	備考
	52-	
	52-	
	52-	
	52-	
	52-	

<p><b>摘要欄</b> 緊急連絡先</p>
-------------------------

# 5人組台帳の作成

# 救急キット～他の地域にも普及しています～

**安心・安全カード**

住 所	益田市美都町		
ふりがな			
氏 名			
生年月日	年 月 日	血液型	型
緊急連絡先		TEL	
かかりつけ医		TEL	
病歴・現病名等			
常備飲み薬			
保険証番号			
特記事項			

必要事項を記入して筒に入れます

冷蔵庫の中に入れて下さい

冷蔵庫に貼って下さい

# 地区内唯一の公共交通



# NPO法人たすけあい平田さんへの 視察研修



益田市地域公共交通総合連携計画(素案)



平成 22(2010)年 3 月

益田市地域公共交通活性化協議会

益田市の計画(素案)





更なる乗車率向上への取り組みも急務となっています

あらゆる可能性への思い

**特定非営利活動法人  
設立等の手引き**

**島根県**

平成21年3月

**環境生活部環境生活総務課  
NPO活動推進室**

〒690-8501

松江市殿町1番地

TEL.(0852)22-5096

FAX.(0852)22-5098

E-mail : [npo@pref.shimane.lg.jp](mailto:npo@pref.shimane.lg.jp)

<http://www.pref.shimane.lg.jp/npo/>



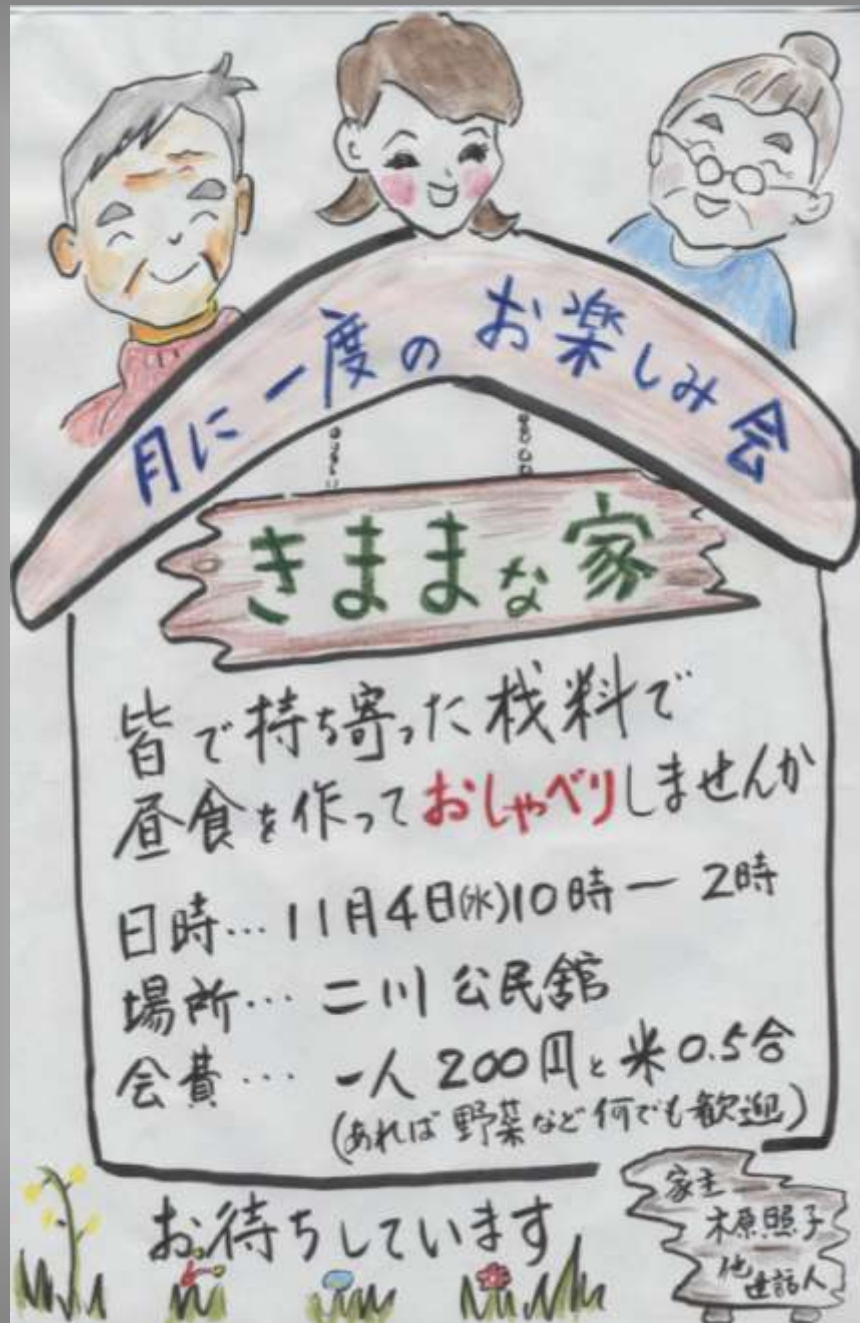
# 地域との交流



# 双川峡 養戸の滝



# 若杉天然林



# 新しい取り組み

# 持ち寄った食材で昼食づくり



きままに楽しく生きがいづくり





食後は軽運動でストレッチ



# 交流サロンの始まり





布ぞうりをつくりました



益田市立二川小学校

二川の未来を担う子供たち

ご清聴を感謝いたします



ありがとうございました

# モデル地区 種地区報告

## 種地区

(旧益田市)

## 二川地区

(旧美都町)

## 匹見下地区

(旧匹見町)



益田市



# 1 種地区の概況

## 1)種地区の現況と課題 H.21.12

地域の現況	自治会数	4自治会	集落数	11集落	高齢化率 38.9%
	人口	332人	世帯数	119世帯	
	耕地面積	35.98ha	遊休農地	14.57ha	遊休農地率 40.49%
	遊休農地解消面積	100a	復田面積	82a	



耕作放棄地復旧の為の草刈り



耕作放棄地復旧後のコンニャク畑



復旧田への田植

## 2 新たな地域運営の仕組みによる活動目標

### ① 新たなコミュニティの形成

- **集落再編の促進**・・・集落人口ビジョンの住民への周知・集落再編の協議
- **定住対策の推進**・・・受け入れ体制の整備。持続的な定住促進活動の実施
- **住みよいコミュニティづくり**・・・交通対策・生活対策
- **旧種小学校跡地の利用**・・・地域活動の拠点整備

### ② 地域資源を活用した産業振興

～種まなびや工房を中心とした活動～

- **地域活動の推進**・・・廃校を利用した農産加工場の整備・運営。商品開発・販売促進
- **遊休農地の解消**・・・農地・地域マップで地域資源の状況を再確認する。
  - ・地域資源を活かした加工品の製造、遊休農地での取り組み。
  - ・乾燥機等機材導入による加工品の製造
- **先進地視察**
- **販路確保**
  - ・ふるさと便(サンプル)発送。
  - ・地元スーパー、直販店での販売



### 3 「種まなびや工房」設立の背景、活動の経緯

平成17年

種のをすをゆめみる会のスタート(H17.3)

※種地区の人口減少や地域活動の停滞を危惧する住民有志15名で設立。

※主な活動は

- ・地域出身者への「種だより」の発行
- ・アンケート調査
- ・Uターン定住推進
- ・農産物等の販売促進

H19年3月種小学校が閉校

平成19年

H19年4月地域振興プロジェクトへの取り組みを開始

※廃校活用の検討・・・廃校事例調査・先進地視察

※定住対策・Uターン者の確保(種だより)

※農地の保全管理(農地マップ)

※地域資源を活かした特産品の育成(柚子・梅・コンニャク)

※ふるさとパックのサンプル発送



加工場設立委員会

平成20年

加工施設「種まなびや工房」設置H20年8月(教室棟改造)

ふるさと会員へのふるさと便の発送(もち・コンニャク)

平成21年

地域全体参加組織 「種まなびや工房」の設立 H21. 3

# 種だより

第2号  
種のあすをゆめみる会

H19年12月

皆さんお元気ですか？我がふるさと種の自然も冬の訪れを感じます。  
この種だよりも一年半ぶりに発刊となりました。四季それぞれ行事があり、なかなか2号が発行できなかった事に対しお詫び申し上げます。さて、今年のふるさとの状況ですが、3月25日に種小学校が閉校となりました。133年の歴史も終わりとなり本当に寂しい限りです。こうして種だよりを発刊する事でふるさとを思い出していただければ幸いです。  
今年度は何としてでも種の活性化に向けスタートしていきたいと思いますので皆さんのご協力をお願い申し上げ、挨拶にかえさせていただきます。 会長 野村 豊

## 種小学校閉校

ありがとう

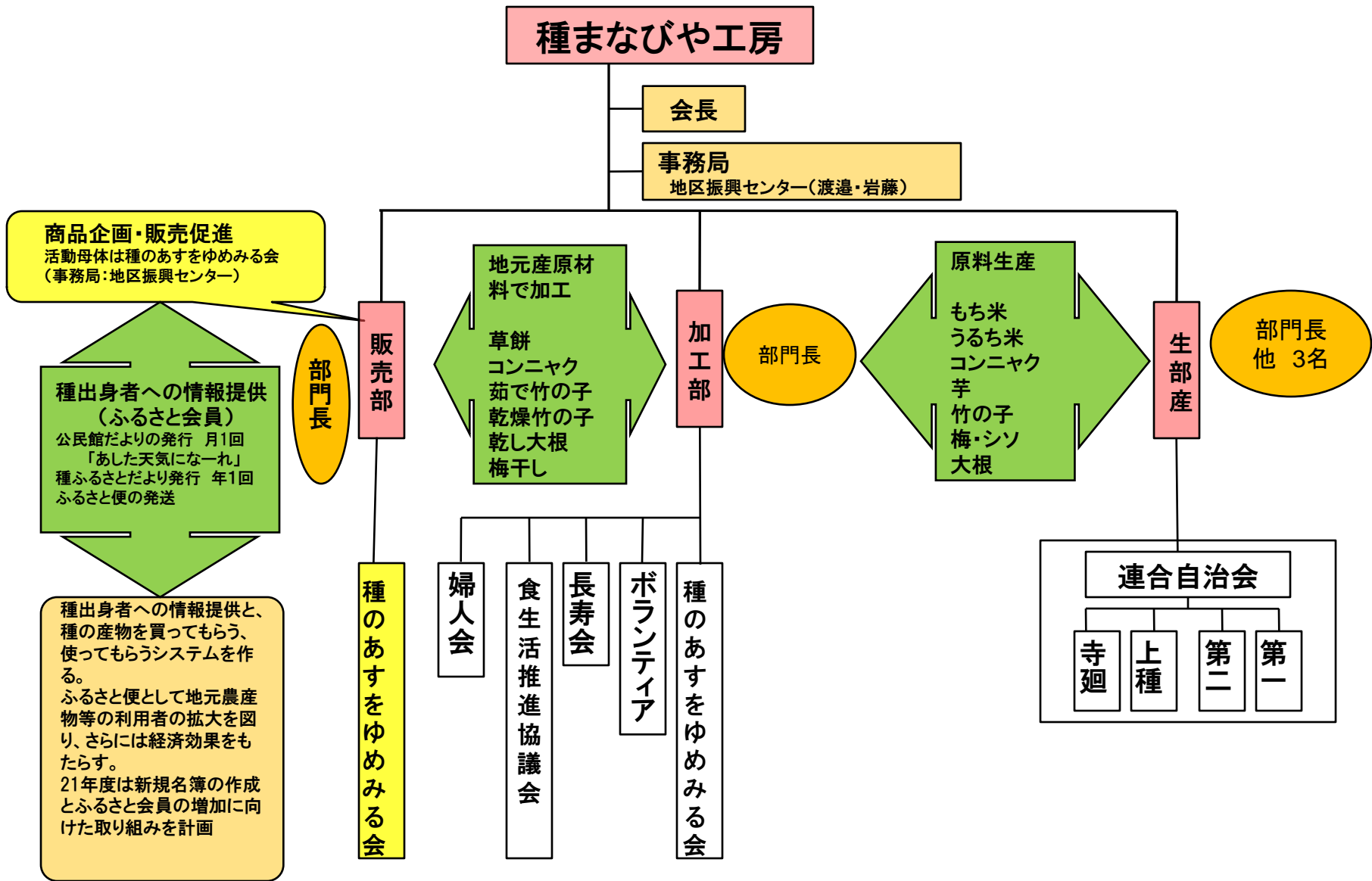
種の学舎として133年の歴史を持つ『種小学校』が諸事情により統廃合となり、18名の児童達が、4月より安田小学校へスクールバスで通学を始めました。

3月25日に種小学校の閉校式・閉校記念碑の除幕、開校以来多くの皆さんが学んだ校舎とのお別れ会(記念式典)を開催致しました。その一部を写真で紹介いたします。※記念碑には【さくら舞う たねの学び舎 ゆめの跡】と刻んでいます。



種小学校の閉校に伴い、“閉校記念誌”を発刊する運びとなりました。発刊日は未定ですが、皆さんからご希望があれば1冊5,000円(送料込み)で発送致します。ご購入の方は『寄付』という形で記念誌にお名前を記載させて頂きたいと思っております。尚、申し込みは12月20日消印までとします。 TEL 0856-27-1008

# 種まなびや工房組織図及び活動イメージ



# 加工場



# 種まなびや工房の活動内容

## 1、地域資源の活用

- ・竹の子・・・竹林被害の解消→集荷・加工販売
- ・ゆず・・・多くの柚子が放置されている。→集荷・販売
- ・大根・・・各家庭で栽培の余りを集荷→加工・販売
- ・コンニャク・・・種イモを配布、栽培→集荷・加工・販売
- ・梅・・・放置梅林→管理・栽培・加工・販売
- ・コシヒカリ・・・集荷・精米・販売
- ・もち米・・・栽培・加工・販売



2、高齢者農家からの農産物の買い取りにより生産意欲向上し栽培面積も増加。

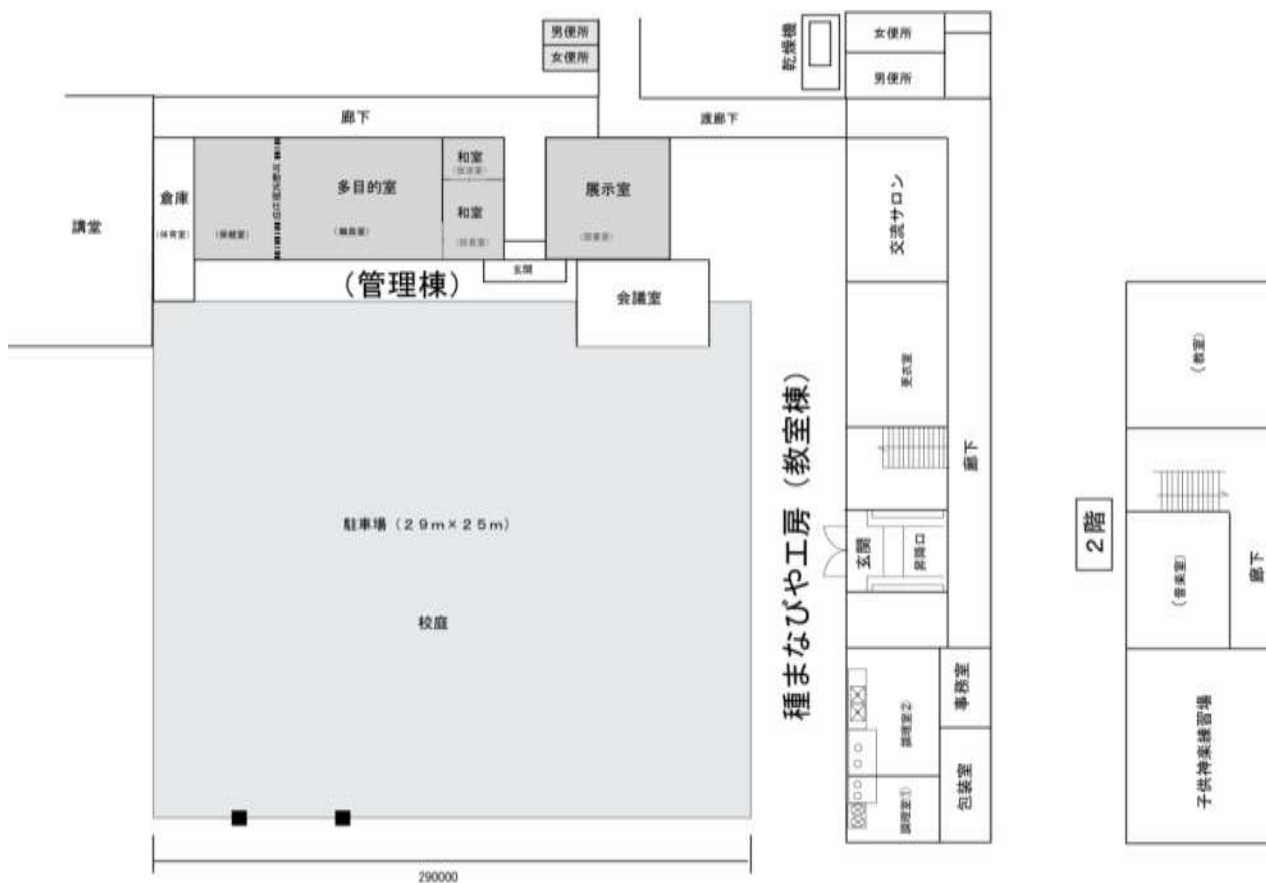
# 活動写真



### 3 旧種小学校を活用した地域活動の拠点整備

教室等の利用・・・加工場

管理棟の利用・・・旧種小学校跡地検討委員会  
H21年4月より地区内団体長  
センター長5名で設立



# 地区住民総参加の交流活動

## ◇ 種地区年間行事

開催時期	行事	参集者 (H20)	今後 参集者 期待数
4／上	種ふるさとまつり(山菜まつり)	320人	400人
6月21日	アジサイ健康ウォーク	98人	150人
7月25日	松永牛肉まつり	1500人	1500人
9月27日	敬老会(参加者)	55人	70人
10月11日	種地区運動会(古里選手参加)	230人	250人
11月22日	種地区文化祭	250人	300人
1月3日	新春神楽大会	140人	150人





# 交通対策

## 生活バス

21年3月まで運行

- 1、毎日の定期運行で乗車率が低い
- 2、奥部にとっては路線まで遠い

## デマンドタクシー

21年4月より運行開始

- 1、週2回（火、金）の運行
- 2、完全予約制である。
- 3、自宅前まで送迎される。
- 4、幅員の狭い地区にも運行が可能になった。

便数は減るが家の前まで来てくれるので高齢者にも安全で買い物にも便利



## 20年度の取り組み

7月18日 市交通観光課、自治会長、センター職員  
8月29日 で協議

## 導入決定

「デマンド方式は地域住民にとって平等である」との考えで住民意識が統一された。

# 課題

## 1、新たなコミュニティの形成

- ・旧種小学校管理棟の改築の推進を行う。
- ・定住促進活動を「種だより」等を介して地道に継続してゆく。
- ・石見交通の種路線廃止(23年4月より)に伴い新たな交通対策の協議を早急に行う必要がある。

## 2、資源を活用した産業振興

- ・後継者の育成を行う。
- ・商品の開発(売れる商品)を行う。
- ・地域内の活動の輪を今以上に広げてゆく。
- ・販路の拡大・・・積極的なPR活動を行う。
- ・運営の安定化の為の効率化に取り組む。

# まとめ

## 種地区

(旧益田市)

## 二川地区

(旧美都町)

## 匹見下地区

(旧匹見町)



益田市

## 事業評価

- ・地域運営・地域経済活動の姿が見える

## 施策展開

- ・モデル地区の取組み情報発信
- ・地域住民が主体となる地域自治組織の確立

## 課題等

- ・地域に危機感の温度差

益田市



**ご静聴ありがとうございました**

**益田市**